

国語（3年生） 学習案内

◎中学校の国語科では、「言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成すること」を目標としています。

◎そして中学3年生の国語では主に次のような教材を扱う予定です。場合によっては別の教材に替えることもあります。

【知識・技能】

- 言葉 ・和語、漢語、外来語 ・相手に対する配慮と表現 ・慣用句、ことわざ
- 文法 ・助詞のはたらき ・助動詞のはたらき ・文法的に考える ・敬語
- 漢字 ・呉音、漢音、唐音 ・熟字訓 ・異字同訓 ・四字熟語

【思考力・判断力・表現力等】

- ・春に ・立ってくる春 ・なぜ物語が必要なのか ・私 ・薔薇のボタン ・AIは哲学できるか
- ・async—同期しないこと ・問いかける言葉 ・旅への思い—芭蕉と『おくのほそ道』— ・最後の一句
- ・和歌の調べ—万葉集、古今和歌集、新古今和歌集— ・風景と心情—漢詩を味わう— ・バースデイ・ガール
- ・俳句の味わい／俳句十五句 ・初恋 ・故郷 ・具体例をもとに説明文を書く ・説得力のある批評文を書く
- ・新聞が伝える情報を考える

評価の観点

この3つの観点を評価していきます



主体的に学習に取り組む態度

→どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送ろうとしているか

言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとしているか。

- ・自己の課題の調整力
- ・粘り強さ



知識・技能

→何を理解しているか、何ができているか

社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしているか。

- ・言葉の特徴や使い方
- ・情報の扱い方
- ・我が国の言語文化

思考力・判断力・表現力等

→理解していること・できることをどう使っているか

論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしているか。

- ・話すこと
- ・聞くこと
- ・書くこと
- ・読むこと

★評価の方法

国語科では、3つの観点を主に次のような方法で評価します。

○知識・技能

小テストや定期テスト等を通して、知識の習得や概念的な理解を調べたり、その知識や技能を用いる場面を設定し、習熟度を測ったりします。主に漢字や古典、文法、書写、情報の扱い方や読書等で評価します。

○思考力・判断力・表現力等

小テストや定期テスト、レポート、論述やグループでの話し合い、発表、作品の制作などを通し、思考力や判断力、表現力を評価します。主に記述された文章や発表等での話し方、聞き方、物語文や論説文の読解内容を評価します。

○主体的に学習に取り組む態度

小テストや定期テスト、ノートやプリント、ワーク等を通して、「知識・技能」を習得したり「思考力、判断力、表現力等」を身に付けたりするために、自分の学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど、自分の学習を調整しながら学ぼうとしているかどうかという意欲面を評価します。また、粘り強く取り組んでいるかどうかも大切です。そのために、決められたことや板書を書き写すだけでなく、自分なりに考えたことや調べたことを書き加えられているかを確認します。さらに、提出物や課題を忘れずに取り組んでいるかどうかや、授業での様子を評価します。